

1. 国名：パラグアイ共和国

2. 募集職種・人数：家畜飼育 2名

3. 派遣期間：2024年4月～2年間を予定

4. 配属先概要

1) 受入省庁：経済・社会開発企画庁

2) 配属先：① ラウルペニャ農業協同組合
② ナランヒート農業協同組合

3) 任地：① アルト・パラナ県ラウルペニャ市
② イタプア県サン・ラファエル・デル・パラナ市

4) 県概要

① アルト・パラナ県：

アルト・パラナ県は、ブラジルとの国境の町、エステ市（人口国内第2位）を中心とした県であり、22市町村から構成されている。エステ市は、ブラジル側のフォス・ド・イグアス市と橋で繋がっており、行き来は盛んである。また、世界最大級のイタaipダムや日系移住地のひとつであるイグアス移住地もある。イグアス移住地の日系セタパール財団には、本学のパラグアイオフィスが設置されており、関係が深い。小麦、大豆、トウモロコシの生産などは、国内有数である。

② イタプア県：

イタプア県は国内第10位（アスンシオン及びその近郊を除くと2位）の都市エンカルナシオン市を中心とした県で、小麦、大豆などの穀物、さらには畜肉製品や牛乳加工品の生産地として知られている。30市町村から構成され、県庁は農業分野を担う農業生産開発局をはじめ、公共事業部、教育文化部、環境部他から成り立つ。同県内には世界各国からの移住が多いが、特にドイツ系と日系の移住が多い地域である。

5. 要請概要

1) 要請理由

帯広畜産大学は、2011年よりJICA草の根技術協力事業をパラグアイ国の南東部であるアルト・パラナ県、イタプア県で実施している。現在、「パラグアイ酪農の持続可能な発展をめざすネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト」（第3フェーズ）を実施しており、プロジェクトにはパラグアイ全土で酪農に興味のある農業共同組合（以下、農協）から農協獣医師が参画している。農協獣医師は、農協所属の酪農家に対し、技術指導だけでなく経営指導強化に努めているが、酪農の基本である搾乳衛生、飼養管理、繁殖管理等の技術向上がなければ、乳量増加、収入向上等へ繋がらないことから、農協獣医師と一緒に活動のできる海外協力隊の要請がなされた。また同草の根技術協力プロジェクト

は、根拠に基づいた酪農指導ができるよう酪農情報システムを利用することから、同システムを利用した活動への支援も求められている。

2) 予定されている活動内容

地域の小農家を対象に牛乳の生産性向上や品質改善、乳量増に向けて、農協獣医師らとともに下記の業務を行う。

- ① カウンターパートである技術普及員(獣医)らとともに小農家を巡回し、繁殖管理、飼養管理、衛生・搾乳の指導を行う。
- ② 酪農家への研修の広報・企画・実施の支援を行う。
- ③ 必要に応じて生乳の品質調査を行う。
- ④ パラグアイ生産者組合連盟(FECOPROD)の酪農情報システム「SISCOLE」の入力等をサポートする。
- ⑤ 所属農協が実施するイベント等への参加
- ⑥ 必要に応じてJICA海外協力隊(短期派遣)の受入調整,

3) 配属先スタッフ・同僚等

各農協ともにカウンターパートとして1名配置予定(獣医師)
小規模酪農家組合員(複数名)

4) 業務使用言語: スペイン語(訓練言語)・グアラニー語

5) 選考指定言語: 英語

※学内選考時は、TOEIC等のスコアは不所持でも問題ないが、JICA選考時に必要になるので、JICA 海外協力隊応募時まで各自受験しておくこと。

[語学力審査について | JICA 海外協力隊](#)

6. 資格条件

- 1) 学歴: 本学卒業生、卒業見込者(2024年3月)、本学大学院生

7. 地域概況

- 1) 気候: 温暖湿潤気候
- 2) 気温: 0~40℃
- 3) 電気: 安定
- 4) 電話: 通話・インターネット可
- 5) 水道: 安定

8. その他

JICA 合否決定後、大学が定期的に行うスペイン語研修や搾乳実習などに参加すること。

以上